

特35

236

中庸提要
全

008620-000-3

特35-236

中庸提要

佐藤 雲韶/記

M32

AAC-1490



佐藤雲韶錄

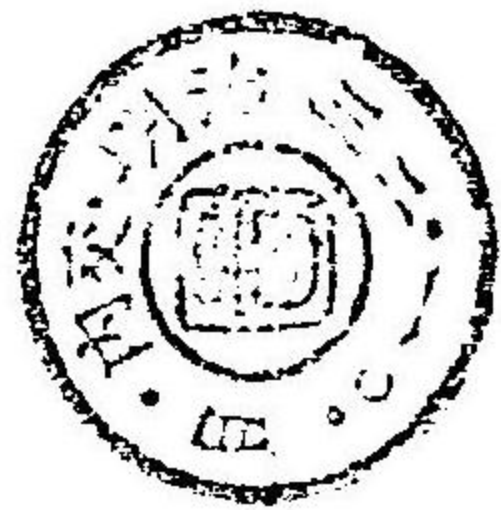
中庸提要

全

東京 金港堂書報社發行

中庸提要

例言



一 中庸ノ一書ハ儒教ノ精理ヲ説ケリ故ニ論孟及
 大學提要ヲ學ビテ此篇ニ及バ學問着落アリ
 テ心意ノ修身ニ裨益アラシ

一 此書ハ師範學校二年級ノ末期又ハ三年級ノ初
 期ニ授クルヲ目的トス

一 此書ヲ授クル方法ハ小學提要ノ例言ニ記セル
 ガ如クス可シ

中庸提要

佐藤雲詔錄

中庸

解 中ハ不偏不倚ニテ、過不及無キナリ。庸ハ平常ナリ。

天命之謂性。率性之謂道。脩道之謂教。

解 命ハ、令ノゴトキナリ。性ハ即理ナリ。天ハ陰陽五行ヲ以テ萬物ヲ化生シ、氣ニテ形ヲ成シ、理モ亦賦セリ。猶命令ノ如シ。惟人ノ生ズル、其賦セル所ノ理ニ因リテ、健順五常ノ徳トス。所謂性ナリ。率ハ循ナリ。人各其性ノ自然ニ循フトキハ、日

用事物ノ間、各行フベキ則有ラザルコト無シ。是則所謂道ナリ。脩ハ之ヲ品節スルナリ。性ト道トハ同シケレドモ、氣稟或ハ異ナリ。故ニ過不及ノ差無キコト能ハズ。聖人ノ行フベキ所ニ因リ、之ヲ品節シテ法ヲ天下ニ爲ル。是所謂教ナリ。蓋人己ノ性有ルヲ知リテ、其天ヨリ出ヅルヲ知ラズ。事ノ道有ルヲ知リテ、其性ヨリ出ヅルヲ知ラズ。聖人ノ教有ルヲ知リテ、其吾固有スルモノニ因リテ、之ヲ裁セルヲ知ラズ。故ニ子思此ニ於テ、首ニ之ヲ發明ス。

道也者、不可須臾離也。可離非道也。是故君子戒慎乎其所不睹、恐懼乎其所不聞。

解 道トハ、事物當行ノ理。皆性ノ德ニシテ、心ニ具ル物トシ

テ有ラザル無シ。時トシテ然ラザルハ無シ。須臾モ離ル可カラザル所以ナリ。若離ル可クバ、豈性ニ率フ謂ヒナランヤ。是ヲ以テ、君子ノ心常ニ敬畏ヲ存シ、己ノ見聞セズト雖、亦敢忽ニセズ。天理ノ本然ヲ存シテ、須臾ノ頃モ離レ使メザル所ナリ。

莫見乎隱、莫顯乎微、故君子必慎其獨也。

解 隱トハ心曲ノ中ヲ指ス。微トハ一念ノ動キヲ指ス。獨トハ人ノ知ラザル所ニシテ、己ノ獨知ル所ノ地ナリ。隱ト微ト、跡ハ未形レザレドモ、幾ハ己ニ動キ、人ハ知ラザレドモ、己ハ獨之ヲ知ル。天下ノ事皆此中ニ基ス。則著見明顯ナルコト、此ニ過ギタルハ無シ。是ヲ以テ、君子常ニ既ニ戒懼シテ、尤此ニ

謹ミ、人欲ヲ萌サントスルニ遏ム。潜滋暗長シテ、道ヲ離ルル
コト遠キニ至ラ使メザル所以ナリ。

喜怒哀樂之未發、謂之中。發而皆中節、謂之
和。中也者、天下之大本也。和也者、天下之達
道也。

解 喜怒哀樂ハ情ナリ。其未發ハ性ナリ。乖戾スル所無シ。故
ニ之ヲ和ト謂フ。大本トハ天命ノ性ニテ、天下ノ理皆此ヨリ
出ヅ。道ノ體ナリ。達道トハ性ニ循フコトノ謂ヒ。天下古今ノ
共ニ由ル所ニテ、道ノ用ナリ。此ハ性情ノ徳ヲ言ヒテ、道ノ離
ル可カラザル意ヲ明ス。

致中和、天地位焉、萬物育焉。

解 致ハ、推シテ之ヲ極ムルナリ。位ストハ其所ニ安ンズル
ナリ。育トハ其生ヲ遂グルナリ。戒懼ヨリシテ之ヲ約シ、至靜
ノ中モ偏倚スルコト無キニ至リテ、其守リ失ハザレバ、中ヲ
極メタルナリ。慎獨ヨリシテ之ヲ精シ、物ニ應ズル處、少シノ
差謬無キニ至リ、適クトシテ然ラザルコト無ケレバ、其和ヲ
極メタルナリ。此學問ノ極功、聖人ノ能事ナリ。初ヨリ外ニ待
ツコト有ルニ非ズ。而シテ脩道ノ教亦其中ニ在ルナリ。天地
位ストハ、天災地變ナキヲ言フ。萬物育ストハ、人ト物ト、共ニ
康寧ニシテ蕃息スルヲ言フ。

右第一章

解 首ニハ、道ノ本原ノ天ニ出デテ離ル可カラザルヲ言フ。次ニ存要省察ノ要ヲ言フ。終ニ聖神功化ノ極ヲ言フ。蓋一篇ノ體要ナリ。

仲尼曰。君子中庸。小人反中庸。

解 仲尼ハ孔子ノ字ナリ。中庸トハ、偏セズ、倚セズ、過不及無クシテ、平常ノ理。乃天命ノ所當然ナリ。唯君子ノミ能ク之ヲ體スルコトヲ爲。小人ハ是ニ反ス。

君子之中庸也。君子而時中。小人之反中庸也。小人而無忌憚也。

解 君子ノ中庸タル所以ハ、其君子ノ徳有リテ、又能ク時ニ

隨ヒテ、中ニ處ルヲ以テナリ。小人ノ中庸ニ反スル所以ハ、其小人ノ心有リテ、又忌憚スル所無キヲ以テナリ。蓋中ハ定體無ク、時ニ隨ヒテ在リ。是乃平常ノ理ナリ。君子ハ其我ニ在ルヲ知ル。故ニ能ク戒謹恐懼シ、時トシテ中ナラザル無シ。小人ハ此有ルヲ知ラザレバ、欲ヲ肆ニシ、妄行シテ、忌憚スルコト無キナリ。

右第二章

解 此ノ下十章ハ、皆中庸ヲ論ジテ、首章ノ義ヲ釋ス。

子曰。中庸其至矣乎。民鮮能久矣。

解 過グレバ中ヲ失ヒ、及バザレバ至ラズ。故ニ惟中庸ノ徳

ヲ至レリトス。然レドモ、亦人ノ同ジク得タル所、初ヨリ難キ事ナシ。但世教衰へ、民行ニ興ラズ。故ニ能クスルコト鮮キ、今已ニ久シキナリ。

右第三章

子曰道之不行也。我知之矣。知者過之。愚者不及也。道之不明也。我知之矣。賢者過之。不肖者不及也。

解 道トハ、天理ノ當然ニテ中ノミ。知愚賢不肖ノ過不及ハ、生稟ノ異ニテ、中ヲ失ヘルナリ。知者ハ知ルコト過ギ、既ニ道

ヲ以テ行フニ足ラズトス。愚者ハ知ルニ及バザレバ、行フ所以ヲ知ラズ。此道ノ常ニ行ハレザル所以ナリ。賢者行フコト過ギ、既ニ道ヲ以テ知ルニ足ラズト爲。不肖者ハ行フニ及バザレバ、行フ所以ヲ求メズ。此道ノ常ニ明ナラザル所以ナリ。人莫不飲食也。鮮能知味也。

解 上句ハ道ノ離ル可カラザルニ喩フ。下句ハ人ノ自察セザルニ喩フ。察セザル故ニ、過不及ノ弊有リ。

右第四章

子曰舜其大知也歟。舜好問而好察邇言。隱惡而揚善。執其兩端用其中於民。其斯以爲

舜乎。

解 舜ハ古ノ聖帝ノ名。舜ノ大知タル所以ハ、其自用并ズシテ、之ヲ人ヨリ取ルニヨリテナリ。邇言トハ淺近ノ言。猶必察スレバ、其善ヲ遺スコト無キ知ルベシ。然レドモ言ノ善カラザルハ、隱シテ宣セズ。其善キモノハ、播シテ匿サズ。其廣大光明ナルコト此ノ如シ。兩端ハ衆論ノ同シカラザル極ヲ謂フ。善ノ中ニ於テ、又其兩端ヲ執リ、量度シテ中ヲ取リ、然ル後之ヲ用并ル。則擇ブコト審ニシテ、行フコト至レリ。此知ノ過不及無クシテ、道ノ行ハルル所以ナリ。

右第五章

子曰。人皆曰。予知。驅而納諸罟獲陷阱之中。而莫之知辟也。人皆曰。予知。擇乎中庸。而不能期月守也。

解 罟ハ網ナリ。獲ハ機檻ナリ。陷阱ハ坑坎ナリ。皆物欲ノ人ヲ陷害スルニ況フルナリ。中庸ニ擇ブトハ、衆理ヲ辨別シ、以テ所謂中庸ヲ求ムルナリ。禍ヲ知リテ避クルヲ知ラズ。擇ミテ守ルコト能ハズ。皆知ト爲ルヲ得ザルヲ言フナリ。

右第六章

解 上章ヲ承ケテ下章ヲ起スナリ。

子曰。回之爲人也。擇乎中庸。得一善。則拳拳服膺。而不失之矣。

解 回ハ孔子ノ弟子、顔淵ノ名ナリ。拳拳ハ奉持ノ貌。服ハ著ノゴトシ。膺ハ胸ナリ。奉持シテ、之ヲ心胸ノ間ニ著クトハ、能ク守ルヲ言フナリ。顔子、蓋眞ニ知ル。故ニ能ク擇ビ能ク守ル。コト此ノ如シ。此行ノ過不及ナクシテ、道ノ明ナル所以ナリ。

右第七章

子曰。天下國家可均也。爵祿可辭也。白刃可蹈也。中庸不可能也。

解 均ハ平治ナリ。三ツハ亦知仁勇ノ事ニテ、天下ノ至難ナリ。然レドモ皆一偏ニ倚ル。故ニ天資ノ近クシテ、力ノ能ク勉ムル者ハ、皆之ヲ能クスルニ足レリ。中庸ニ至リテハ、能クシ易キガ若シト雖、然レドモ義精シク仁熟シテ、一毫人欲ノ私ナキ者ニ非レバ、及ブコト能ハザルナリ。三ツノコトハ難ケレドモ易シ。中庸ハ易ケレドモ難シ。此民ノ能クスルコト鮮キ所以ナリ。

右第八章

解 亦上章ヲ承ケテ下章ヲ起ス。

子路問強。

解 子路ハ孔子ノ弟子ナリ。子路勇ヲ好ム。故ニ強ヲ問フナリ。

子曰。南方之強與。北方之強與。抑而強與。

解 而ハ汝ナリ。

寬柔以教。不報無道。南方之強也。君子居之。

解 寬柔以教フトハ、含容異順ニテ、人ノ及バザルヲ誨フル

ヲ謂フナリ。無道ニ報イズトハ、横逆ノ來ル直ニ之ヲ受ケテ、

報イザルヲ謂フナリ。南方ハ風氣柔弱ナリ。故ニ含忍ノ力人

ニ勝ルヲ以テ強トス。君子ノ道ナリ。

衽金革。死而不厭。北方之強也。而強者居之。

解 衽ハ臥席ナリ。金ハ戈兵ノ屬。革ハ甲冑ノ屬ナリ。北方ハ

風氣剛勁ナリ。故ニ果敢ノ力人ニ勝ルヲ以テ強トス。強者ノ事ナリ。

故君子和而不流。強哉矯。中立而不倚。強哉

矯。國有道不變。塞焉。強哉矯。國無道至死不

變。強哉矯。

解 此四ツノ事ハ、汝ノ強トスベキ所ナリ。矯ハ強キ貌。倚ハ

偏著スルナリ。塞ハ達セザルナリ。國ニ道有ルトキ、未達セザ

ルニ守リシ所ヲ變セズ。國ニ道無キトキ、平生ノ守ル所ヲ變

セザルナリ。此所謂中庸ノ能クス可カラザルコト、自其人欲

ノ私ニ勝ツコト有ルニ非レバ、擇ビテ守ルコト能ハザルナ

リ。君子ノ強、孰レカ是ヨリ大ナラン。

右第九章

子曰素隱行怪後世有述焉吾弗爲之矣。

解 素ハ蓋索ノ誤ナリ。漢書ニ索ニ作ル。素隱行怪トハ、深ク
隱僻ノ理ヲ求メテ、詭異ノ行ヲ爲ルヲ言フナリ。然シテ其世
ヲ欺キテ、名ヲ盜ムニ足ルヲ以テノ故ニ、後世或ハ之ヲ稱述
スル者有ラン。此知之過ギテ善ニ擇ハズ、行ノ過ギテ其中ヲ
用井ザル者ナリ。聖人豈之ヲ爲ンヤ。

君子遵道而行半途而廢吾弗能已矣。

解 道ニ遵ヒテ行フトキハ、能ク善ニ擇ブナリ。半途ニシテ
廢スルハ、力ノ足ラザルナリ。此ハ其知之ニ及ブニ足ルト雖、

行逮バザルコト有ル者ナリ。已ハ止ナリ、聖人ハ、此ニ於テ勉
焉トシテ敢廢セザルニ非ズ。蓋至誠息ムコト無クシテ、自止
ムコト能ハザル所有リ。

君子依乎中庸。遯世不見知而不悔。唯聖者
能之。

解 隱ヲ索メ怪ヲ行フコトヲ爲ザレバ、中庸ニ依ルノミ。半
途ニシテ廢スルコト能ハズ。是ヲ以テ世ヲ遯レ、知ラレズシ
テ悔イザルナリ。此中庸ノ成徳、知ノ盡セル仁ノ至レルナリ。
正ニ吾夫子ノ事ナレドモ、猶自居ラズ故ニ曰ク、唯聖者之ヲ
能クスル而已。

右第十章

解 子思ガ夫子ノ言ヲ引キテ、首章ノ義ヲ明ニスルコト此ニ止ル。蓋此篇知仁勇ノ三達徳ヲ以テ、道ニ入ル門トス。舜ハ知ナリ。顔淵ハ仁ナリ。子路ハ勇ナリ。三ツノモノ、其一ヲ廢スレバ、道ニ造リテ徳ヲ成スコト無キナリ。

君子之道費而隱

解 費ハ用ノ廣キナリ。隱ハ體ノ微ナルナリ。費隱ノ二字、道ニ就キテ言フ。

夫婦之愚可以與知焉。及其至也。雖聖人亦有所不知焉。夫婦之不肖可以能行焉。及其至也。雖聖人亦有所不能焉。天地之大也。人

猶有所憾。故君子語大天下莫能載焉。語小天下莫能破焉。

解 君子ノ道ハ、即中庸ナリ。近クハ夫婦室ニ居ル間ヨリ、遠クハ聖人天地モ盡スコト能ハザルニ至ル。其大ナルコト外無ク、其小ナルコト内無シ。費ナリト謂フ可シ。然レドモ其理ノ然ル所以ハ、隱レテ見ルコト莫キナリ。孔子ノ禮ヲ問ヒ、官ヲ問フ如キハ、是知ラザル所。位ヲ得ザルガ如キハ、是能セザル所ナリ。人ノ天地ニ憾ム所ハ、寒暑ノ其正ヲ得ザル如キ是ナリ。聖人天地モ盡ス能ハザレハ、天下ニ能ク載スル者無シ。愚夫愚婦ノ知り行フ所モ、道ノ體セザルコト無ケレバ、天下ニ能ク破ルモノ無シ。

詩云。鳶飛戾天。魚躍于淵。言其上下察也。

解 詩ハ大雅旱麓ノ篇。戾ハ至ルナリ。察ハ著明ナリ。此ヲ引イテ、道ノ用大ニシテ、萬物各其所ヲ得ルヲ謂フナリ。致中和ノ節ト意同シ。

君子之道造端乎夫婦。及其至也。察乎天地。

解 上文ヲ結ブ。

右第十一章

解 子思ノ言ナリ。首章ノ道ハ離ル可カラザル意ヲ申明ス。

子曰。道不遠人。人之爲道而遠人。不可以爲

道。

解 道トハ性ニ率フノミ。固ニ衆人ノ能ク知り、能ク行フ所ノ者ナリ。故ニ常ニ人ニ遠カラズ。モシ道ヲ爲ル者、卑近ナルヲ厭ヒテ、爲ルニ足ラズトシ。反リテ務メテ高遠行ヒ難キ事ヲ爲レバ、道タル所以ニ非ルナリ。

詩云。伐柯伐柯。其則不遠。執柯以伐柯。睨而視之。猶以爲遠。故君子以人治人。改而止。

解 詩ハ豳風伐柯ノ篇。柯ハ斧柄ナリ。則ハ法ナリ。睨ハ邪視ナリ。人ノ柯ヲ執リ木ヲ伐リテ柯トスルハ、其長短ノ法、此ノ柯ニ在ルノミ。然レドモ猶彼此ノ別有リ。故ニ伐ル者之ヲ視テ猶遠シト爲ルナリ。モシ人ヲ以テ人ヲ治ムルトキハ、人爲

ル所以ノ道各當人ノ身ニ在リ。初ヨリ彼此ノ別無シ。故ニ君子ノ人ヲ治ムル、即其人ノ道ヲ以テ、其人ノ身ヲ治メ、其人能ク改ムレバ止メテ治メズ。蓋之ニ責ムルニ、其能ク知り能ク行フ所ヲ以テスルナリ。

忠恕違道不遠。施諸己而不願。亦勿施於人。

解 己ノ心ヲ盡スヲ忠トス。己ヲ推シテ人ニ及スヲ恕トス。違ハ去ナリ。此ヨリ彼ニ至ルマデ相去ルコト遠カラズ。背キテ去ルニ非ルヲ言フナリ。道ハ即人ニ遠カラザルモノ是ナリ。己ニ施シテ願ハズンバ、亦人ニ施スコト勿ンハ、忠恕ノ事ナリ。道ハ是自然ノモノ、人能ク忠恕ナレバ、道ヲ去ルコト遠カラズシテ到達スベキナリ。

君子之道四。丘未能一焉。所求乎子、以事父未能也。所求乎臣、以事君未能也。所求乎弟、以事兄未能也。所求乎朋友、先施之未能也。庸德之行。庸言之謹。有所不足、不敢不勉。有餘不敢盡。言顧行。行顧言。君子胡不慥慥爾。

解 求ハ責ノゴトキナリ。道ハ人ニ遠カラズ。凡己ノ人ニ責ムル所ノコト、皆道ノ當然ナル所ナリ。故ニ之ヲ反シテ、自責メテ自脩ムベシ。庸ハ平常ナリ。行フトハ其實ヲ踐ムナリ。謹ムトハ其可ヲ擇ムナリ。徳足ラズトシテ勉ムレバ、行益力ム。言ハ餘有リテ訥スレバ、謹ムコト益至ル。謹ムコト至レバ、言

行ヒテ願ル。行フコトカムレバ、行言ヲ願ル。慥慥ハ篤實ノ貌。君子ノ言行此ノ如シ。豈慥慥ナラザランヤト。之ヲ贊美スルナリ。

右第十一章

解 道ノ人ニ遠カラザルモノハ、夫婦ノ能クスル所。丘未一ツヲ能クセザルモノハ、聖人ノ能クセザル所。皆費ナリ。而テ其然ル所以ハ、則至隱存ス。下章モ此ニ效フ。

君子素其位而行。不願乎其外。

解 素ハ見在ノゴトシ。君子ハ但見在居ル所ノ位ニ因リテ、其爲ベキ所ナス。其外ヲ慕フ心無キナリ。

素富貴行乎富貴。素貧賤行乎貧賤。素夷狄行乎夷狄。素患難行乎患難。君子無入而不自得焉。

解 此其位ニ素シテ行フヲ言フナリ。

在上位不陵下。在下位不援上。正己而不求於人。則無怨。上不怨天。下不尤人。

解 此其外ニ願ハザルヲ言フナリ。

故君子居易以俟命。小人行險以徼幸。

解 易ハ平地ナリ。易キニ居ルハ位ニ素シテ行フナリ。命ヲ

俟ツハ外ニ願ハザルナリ。微ハ求ナリ。幸ハ得ベカラズシテ得ル所ノモノヲ謂フ。

子曰射有似乎君子。失諸正鹄。反求諸其身。

解 布ノ的ニ、正ヲ畫キタルヲ正ト曰フ。正ハ鳴ト同シ。小鳥ナリ、皮ノ的ノ中ニ、鵠ノ革ヲ置キタルヲ鵠ト曰フ。此人ニ求メザル意ヲ證シテ、上文ヲ結フ。

右第十三章

凡章ノ首ニ、子曰ノ字無キハ子思ノ言ナリ。

君子之道辟如行遠。必自邇。辟如登高。必自卑。

解 辟ハ譬ト同シ。

詩曰。妻子好合。如鼓琴瑟。兄弟既翕。和樂且耽。宜爾室家。樂爾妻孥。

解 詩ハ小雅棠棣ノ篇。琴瑟ヲ鼓スル如シトハ、和スルナリ。翕モ亦合フナリ。耽モ亦樂シムナリ。孥ハ子孫ナリ。

子曰。父母其順矣乎。

解 夫子此詩ヲ贊シテ曰ク。此ノ如クナレバ、父母之ニ安樂セント。子思詩及ビ此語ヲ引キテ、遠キニ行クニ邇キヨリシ、高キニ登ルニ卑キヨリスル意ヲ明スナリ。

右第十四章

子曰鬼神之爲德其盛矣乎。

解 鬼神トハ、陰陽二氣ノ往來屈伸スルヲ指シテ言フ。鬼ハ陰ノ靈ナリ。神ハ陽ノ靈ナリ。徳タルトハ、性情功效ト言フガ如シ。

視之而弗見聽之而弗聞體物而不可遺

解 鬼神ハ形モ無シ。然レドモ、物ノ終始スルハ、陰陽合散ノ爲ル所ニ非ルハナシ。是物ノ體トナリテ、物ノ遺スコト能ハザル所以ナリ。物ニ體シトハ事ニ幹タリト謂フガ如シ。

使天下之人齊明盛服以承祭祀洋洋乎如在其上如在其左右

解 齊トハ、不齊ヲ齊ヘテ其齊フコトヲ致ス所以ナリ。明ハ潔ノ如キナリ。洋洋ハ流動充滿スル貌。能ク人ヲシテ畏敬奉承セシメテ、發見ノ昭著ナルコト此ノ如シ。乃其物ニ體シテ遺ス可カラザル驗ナリ。

夫微之顯誠之不可揜如此夫

解 誠トハ、眞實無妄ノ謂ナリ。陰陽ノ合散スル實ニ非ルコト無シ。故ニ其發見ノ揜フ可カラザルコト此ノ如シ。

右第十五章

解 見エズ、聞エザルハ隱ナリ。物ニ體シ、在ルガ如キハ費ナリ。

子曰舜其大孝也與德爲聖人尊爲天子富有四海之內宗廟饗之子孫保之

解 保ハ祭祀ヲ承保スルナリ夏ノ時舜ノ後ヲ虞ニ封ズ周ノ時陳胡公アリ

故大德必得其位必得其祿必得其名必得其壽

解 舜ハ年百有十歳此ハ汎ク理ノ必然ヲ言フ

故天之生物必因其材而篤故栽者培之傾者覆之

解 材ハ質ナリ篤ハ厚ナリ栽ハ植ナリ氣至リテ滋息スルヲ培トス氣反リテ遊散スレバ覆ル

詩曰嘉樂君子憲憲令德宜民宜人受祿于天保佑命之自天申之

解 詩ハ大雅假樂ノ篇憲ハ顯ニ作ルベシ申ハ重ナリ此ハ栽者培之ノ句ヲ證ス

故大德者必受命

解 天命ヲ受ケテ天子トナルナリ

右第十六章

解 此庸行ノ常ヨリ之ヲ推シテ其至ルヲ極ム道ノ用廣キ

ヲ見スナリ。

哀公問政。

解 哀公ハ魯ノ君ナリ。名ハ蔣。

子曰文武之政布在方策。其人存則其政舉。其人亡則其政息。

解 文武ハ周ノ文王武王ヲ指シテ言フ。方策ハ簡牘ナリ。息ハ滅ノゴトシ。是君アリ、是臣アレバ、是政有ルナリ。

人道敏政。地道敏樹。夫政也者、蒲盧也。

解 敏ハ速ナリ。蒲盧ハ蒲葦ナリ。人ヲ以テ政ヲ立ツルハ、地

ニヨリ種樹スルガ如シ。其成ルコト速ナリ。而蒲葦ハ又生シ易キ物、其成ルコト尤速ナリ。人存シテ政舉ルハ、易キコト此ノ如シ。

故爲政在人。取人以身。脩身以道。脩道以仁。

解 此ハ上文ノ人道ハ政ニ敏ナリヲ承ケテ言フ。爲政在人ハ、人ヲ得ルニアリト云フ意ナリ。人ハ賢臣ヲ謂フ。身ハ君ノ身ヲ指ス。道トハ天下ノ達道ナリ。人君ノ政ヲ爲ル、人ヲ得ルニ在リ。人ヲ取ル則ハ、身ヲ脩ムルニ在リ。道ヲ脩ムルニハ、仁ヲ本トスベシ。則君アリ、臣アリテ、政舉ガラザルコト無キナリ。

仁者人也。親親爲大義者宜也。尊賢爲大親。

親之殺尊賢之等禮之所生也。

解 人トハ、人ノ身ヲ指シテ言フ。此生理ヲ具ヘテ、自然ニ惻怛慈愛ノ意有リ。宜トハ、事理ヲ分別シテ各宜シキ所アルナリ。禮ハ斯ニツノモノヲ節文ニスルノミ。

故君子不可以不脩身。思脩身不可以不事親。思事親不可以不知人。思知人不可以不知天。

解 政ヲ爲ルハ人ヲ得ルニ在リ。人ヲ取ルニ身ヲ以テス。故ニ以テ身ヲ脩メザル可カラズ。身ヲ脩ムルニ道ヲ以テシ、道ヲ脩ムルニ仁ヲ以テス。故ニ身ヲ脩メント思ハバ、以テ親ニ

事ヘザル可カラズ。親ヲ親ム仁ヲ盡サント欲セバ、必賢ヲ尊ム義ニ由ル。故ニ又人ヲ知ルベシ。親ヲ親ム殺賢ヲ尊ム等ハ皆天理ナリ。故ニ又天ヲ知ルベシ。

天下之達道五。所以行之者三。曰君臣也。父子也。夫婦也。昆弟也。朋友之交也。五者天下之達道也。知仁勇三者天下之達德也。所以行之者一也。

解 達道トハ、天下古今ノ共ニ由ル所ノ路。即孟子ニ所謂父子親アリ。君臣義有リ。夫婦別有リ。長幼序有リ。朋友信有リ。ト是ナリ。知ハ以テ此ヲ知ル所ナリ。仁ハ以テ此ヲ體スル所ナ

リ。勇ハ以テ此ヲ強ムル所ナリ。之ヲ達徳ト謂フハ、天下古今同シク得タル理ナレバナリ。一ハ則誠ノミ。達道ハ人ノ共ニ由ル所ト雖、是三徳無ケレバ、之ヲ行フコト無シ。達徳ハ人ノ同シク得タル所ト雖、モシ誠ナラザルコト有レバ、人欲之ヲ間デ、徳モ其徳ニ非ズ。而テ誠トハ、タ、此三ツノモノヲ誠實ニスルノミ。

或^{ハナガラニシ}生^ル而知^ル之^ヲ。或^ハ學^ビ而知^ル之^ヲ。或^ハ困^ミ而知^ル之^ヲ。及^ビ其^レ知^ル之^ヲ一^ニ也。或^ハ安^シ而^テ行^フ之^ヲ。或^ハ利^シ而^テ行^フ之^ヲ。或^ハ勉^シ強^シ而^テ行^フ之^ヲ。及^ビ其^レ成^ス功^ス一^ニ也。

解 之ヲ知ル者ノ知ル所之ヲ行フ者ノ行フ所ハ、達道ヲ謂フナリ。其分ヲ以テ言ヘバ、知ル所以ハ知ナリ。行フ所以ハ仁

ナリ。功ヲ成スニ至リテ一ナル所以ハ勇ナリ。其等ヲ以テ言ヘバ、生知安行ハ知ナリ。學知利行ハ仁ナリ。困知勉行ハ勇ナリ。蓋人ノ性不善無シト雖、氣稟ハ同シカラザルコト有リ。故ニ道ヲ聞クニ蚤莫アリ。道ヲ行フニ難易アリ。然レドモ能ク自強メテ息マザレバ、其至ルコトハ一ナリ。

子曰。好^ク學^ム。近^ク乎^ク知^ル。力^ム行^フ。近^ク乎^ク仁^ル。知^ル恥^ム。近^ク乎^ク勇^ム。

解 此ハ、未達徳ニ及バズシテ、徳ニ入ルヲ求ムルコトヲ言フ。學ヲ好ムハ即知ニ非ズ。然レドモ以テ愚ヲ破ルニ足ル。行ヲ力ムルハ即仁ニ非ズ。然レドモ以テ私ヲ忘ル、ニ足ル。恥ヲ知ルハ即勇ニ非ズ。然レドモ以テ懦ヲ起スニ足ル。

知^ル斯^レ三^ツ者^ノ。則^チ知^ル所^レ以^テ脩^ム身^ヲ。知^ル所^レ以^テ脩^ム身^ヲ。則^チ知^ル。

所以治人。知所以治人。則知所以治天下國家矣。

解。斯三者トハ、三近ヲ指シテ言フ。人トハ己ニ對スル稱。天下國家ナレバ、人ヲ盡セリ。此ヲ言ヒテ上文ヲ結ブ。

凡事豫則立。不豫則廢。言前定則不跲。事前定則不困。行前定則不疚。道前定則不窮。

解。凡事トハ、達道達德ノ屬ヲ指ス。豫ハ素定ナリ。跲ハ躓ナリ。疚ハ病ナリ。此ハ凡ノ事皆先誠ニ立タンコトヲ欲スルヲ言フ。下文ニ推ス所ノ如キ是ナリ。

在下位不獲乎上。民不可得而治矣。獲乎上

有道。不信乎朋友。不獲乎上矣。信乎朋友。有道。不順乎親。不信乎朋友矣。順乎親。有道。反諸身。不誠。不順乎親矣。誠身。有道。不明乎善。不誠乎身矣。

解。章首ニ上ノ下ヲ率井ルヲ言ヒ。此ニ至リテ下ノ上ニ事フルヲ説ク。中庸ノ道ハ。上下ニ通シテ行フベキヲ見スナリ。此ハ下位ニ在ル者ニヨリテ、素定ノ意ヲ推言ス。諸ヲ身ニ反シテ誠ナラズトハ、身ニ反求シテ、存スル所發スル所、未眞實妄無キコト能ハザルナリ。善ニ明ナラズトハ、人心天命ノ本然ヲ察シテ、眞ニ至善ノ在ル所ヲ知ルコト能ハザルナリ。

誠者天之道也。誠之者人之道也。誠者不勉而中，不思而得，從容中道。聖人也。誠之者擇善而固執之者也。

解 此ハ、上文ノ身ニ誠ナルヲ承ケテ言フ。誠トハ、眞實無妄ノ謂。天理ノ本然ヲ謂フナリ。誠之トハ、未眞實無妄ナル能ハズシテ、其眞實無妄ナラント欲スル謂。人事ノ當然ナリ。聖人徳ハ、渾然タル天理、眞實無妄ニテ、思勉ヲ待タズシテ、從容トシテ道ニ中ル。則亦天ノ道ナリ。未聖ニ至ラザレバ、人欲ノ私無キコト能ハズシテ、其徳皆實ナルコト能ハズ。故ニ未思ハズシテ得ル能ハザレバ、必善ヲ擇ミテ、然ル後以テ善ヲ明ニス可シ。未勉メズシテ中ルコト能ハザレバ、固ク執リテ、然ル

後以テ身ニ誠ナルベシ。則所謂人ノ道ナリ。

博學之。審問之。慎思之。篤行之。

解 此ハ之ヲ誠ニスル目ナリ。五ノ之ノ字、知ル所行フ所ノ事ヲ指ス。學問思辨ハ、善ヲ擇ブ所以ニシテ知トス。學ビテ知ルナリ。篤行ハ固ク執ル所以ニシテ仁トス。利シテ行フナリ。

有弗學。學之弗能。弗措也。有弗問。問之弗知。弗措也。有弗思。思之弗得。弗措也。有弗辨。辨之弗明。弗措也。有弗行。行之弗篤。弗措也。人一能之。己百之。人十能之。己千之。

解 君子ノ學ハ、爲ザルトキハ己ム。爲レバ必其成ルヲ要ス。

故ニ常ニ其功ヲ百倍ニス。此困ミテ知り、勉メテ行フ。勇ノ事ナリ。

果能此道矣。雖愚必明。雖柔必強。

解 此道トハ、上文兩節ヲ指ス。明ナルハ善ヲ擇ビシ效。強ナルハ固ク執リシ效ナリ。

右第十七章

解 此章、達德達道ハ、是費ノ小ナル者ナリ。誠ハ是費ノ大ナル者ナリ。

自誠明謂之性。自明誠謂之教。誠則明矣。明則誠矣。

解 自ハ由ナリ。德ノ實ナラザルコト無クシテ、明ノ照サザルコト無キハ、聖人ノ德性ノマ、ニテ有スル所ナリ。天道ナリ。先善ニ明ニシテ、後ニ能ク其善ヲ實ニスルハ、賢人ノ學、教ヨリシテ入ルナリ。人道ナリ。誠ナレバ明ナラザルコト無シ。明ナレバ以テ誠ニ至ルベシ。

右第十八章

解 上章ノ天道人道ノ意ヲ承ケテ言ヲ立ツルナリ。以下數章ハ、此章ノ意ヲ反覆推明ス。

唯天下至誠、爲能盡其性。能盡其性、則能盡人之性。能盡人之性、則能盡物之性。能盡物

之性則可以贊天地之化育。可以贊天地之化育則可以與天地參矣。

解 天下ノ至誠トハ、聖人ノ徳ノ實ナル、天下ニ能ク加フルモノ莫キヲ謂フナリ。其性ヲ盡ストハ、徳實ナラザルコト無キ故、人欲ノ私無ク、天命ノ我ニ在ル者、之ヲ察シ之ニ由リ、巨細粗精盡サルコト無キナリ。人物ノ性ヲ盡ストハ、之ヲ知ル明ナラザル無クシテ、之ニ處スルコト當ラザル無キヲ謂フナリ。天地ト參ナルトハ、天地ト並ヒ立ナテ三トナルヲ謂フナリ。此誠ヨリシテ明ナルコトナリ。

右第十九章

其次致曲。曲能有誠。誠則形。形則著。著則明。明則動。動則變。變則化。唯天下至誠爲能化。

解 其次トハ、大賢以下誠ノ未至ラザル者ヲ通ジテ言フナリ。致ハ推致ナリ。曲ハ一偏ナリ。形トハ中ニ積ミテ外ニ發スルナリ。著ハ又顯ハルヲ加フルナリ。明ハ又光輝發越ノ盛ナルコト有ルナリ。動トハ誠ノ能ク物ヲ動スナリ。變トハ物從ヒテ變化スルナリ。惟聖人ハ、能ク性ノ全體ヲ舉ゲテ之ヲ盡ス。其次ハ、必善端發見ノ偏ヨリシテ、悉之ヲ推致シテ、各其極ニ造ルナリ。曲致サルコト無ケレハ、徳實ナラザルコト無クシテ、形著動變ノ功、自己ムコト能ハズ。積ミテ能ク化スルニ至ルトキハ、至誠ノ妙聖人ニ異ナラザルナリ。

右第二十章

故至誠無息

解 既ニ虛假無ク、自間斷無シ。

不息則久久則徵

解 久ハ中ニ常ナルナリ。徵ハ外ニ驗アルナリ。

徵則悠遠悠遠則博厚博厚則高明

解 此皆外ニ驗アル者ヲ以テ之ヲ言フ。中ニ存スル者既ニ久シケレバ、外ニ驗アルコト益悠遠ニシテ窮無シ。悠遠ナル故ニ、其積ムコト廣博ニシテ深厚ナリ。深厚ナル故ニ、其發ス

博厚所以載物也。高明所以覆物也。悠久所以成物也。

ルコト高大ニシテ高明ナリ。聖人ノ功用著見ナル此ノ如シ。解 悠久ハ即悠遠ナリ。内外ヲ兼テ之ヲ言フ。本悠遠ニヨリテ高厚ヲ致シ。高厚ニヨリテ又悠久ナリ。此聖人ノ天地ト功用ヲ同ジクスルヲ言フ。物ヲ載ストハ、其民ヲ字養スル類。物ヲ覆フトハ、其民ヲ教化スル類是ナリ。

博厚配地。高明配天。悠久無疆。

解 此聖人ノ天地ト同體ナルヲ言フ。同體トハ徳ヲ以テ言フ。

如此者不見而章不動而變無爲而成。

解 見ハ示ノゴトキナリ見サズシテ章ハ地ニ配スルヲ以テ言フナリ、動かズシテ變ズルハ天ニ配スルヲ以テ言フナリ、無爲ニシテ成ルハ、無疆ヲ以テ言フナリ。

天地之道可一言而盡也其爲物不貳則其生物不測。

解 此以下ハ天地ノ至誠息ムコト無キ功用ヲ明ス。天地ノ道ハ誠ト云フノミニ過ギズ。貳ナラザルハ誠ナル所以ナリ。誠ナルガ故ニ息マズシテ、物ヲ生ズルコトノ多キ、其然ル所以ヲ知ルコト莫キナリ。

天地之道博也厚也高也明也悠也久也。

解 天地ノ道誠一ニシテ貳ナラズ。故ニ博厚高明悠久ナルコト、其盛ヲ極メテ物ヲ生ズル功有リ。

詩云維天之命於穆不已蓋曰天之所以爲天也於乎不顯文王之德之純蓋曰文王之所以爲文也純亦不已。

解 此ハ詩ヲ引キテ、天徳ト聖人ノ徳ト同シク已マザルヲ言フ。詩ハ周頌維天之命ノ篇於ハ嘆辭。穆ハ深遠ナリ。不顯ハ豈不顯ト言フガゴトシ。純ハ純一ニシテ雜ヘザルナリ。

右第二十一章

解 天道ヲ言フナリ。

大哉。聖人之道。

解 下文ノ兩節ヲ包ミテ言フ。道ハ即性ニ率フ道ナリ。

洋洋乎發育萬物。峻極乎天。

解 此道ノ功用ノ至大ナルコト、氣化ニ形ハル、ヲ言フ。下ノ句ハ天地ニ充塞スル意ナリ。

優優大哉。禮儀三百。威儀三千。

解 此ハ道ノ功用ノ至小ナルコト、人事ニ形ハル、ヲ言フ。優優ハ充足シテ餘アル意。禮儀ハ經禮ナリ。威儀ハ曲禮ナリ。

待其人而後行。

解 道ノ大小、皆其人ヲ待テ後ニ行フベシ。
故曰。苟不至德。至道不凝焉。

解 至德トハ其人ヲ謂フ。至道トハ洋洋優優ノ兩節ヲ指シテ言フ。凝ハ聚ナリ。成ナリ。之ヲ身ニ成スヲ謂フナリ。

故君子尊德性而道問學。致廣大而盡精微。
極高明而道中庸。溫故而知新。敦厚以尊禮。

解 尊トハ恭敬奉持スル意。德性トハ、天ヨリ受ケタル正理ナリ。道ハ由ナリ。謂ハ燁溫ノ溫ノ如シ。故ハ己ニ學ビシトテ謂フ。溫ハ復習フナリ。德性ヲ尊ブハ、心ヲ存シテ道體ノ大ヲ極ムル所以ナリ。問學ニ道ルハ、知ヲ致シテ道體ノ細ヲ極ムル所以ナリ。心ノ體本廣大高明ナリ。私意ヲ以テ之ヲ蔽ハザ

レバ廣大ヲ致ス。私欲ヲ以テ自累セザレバ高明ヲ極ム。理ヲ
析ツニハ、毫釐ノ差有ラシメズ。事ヲ處スルニハ、過不及ノ差
アラシメズ。理義ハ己ニ知ル所ヲ溫メテ、未知ラザル所ヲ知
ル。厚トハ資質ヲ指シテ言フ。之ヲ敦クスレバ持守ノ力固シ。
是故居上_レ不驕_ラ爲下_ト不倍_カ國有道_レ其言足_レ以_ニ
興國_{ルニ}無道_{ケレバ}其默足_{スルヲ}以容_{ルニ}詩曰_ク既明且哲_ニ以保_テ
其身_ヲ其此之謂與_ヒ。

解 倍カズトハ、上ニ忠ナルヲ謂フ。興ハ興起シテ位ニ在ル
ヲ言フナリ。詩ハ大雅蒸民ノ篇。明哲ハ只理ニ順ヒテ行フ自
然ニ災害身ニ及ハザルヲ言フ。

右第二十二章

仲尼祖述堯舜_ニ憲章文武_ヲ上律天時_ニ下襲水
土_ニ。

解 祖述トハ、遠ク其道ヲ宗トスルナリ。憲章トハ、近ク其法
ヲ守ルナリ。天時ニ律ルトハ、四時陰陽自然ノ運ニ法ルヲ謂
フ。水土ニ襲ルトハ、東西南北其一定ノ理ニ因ルヲ謂フ。

辟如天地之無不持載_ヒ無不覆幬_セ辟如四時
之錯行_ハ如日月之代明_ニ。

解 辟ハ譬ト同シ。此孔子ノ全體ノ德ニ就キテ言フ。行事ノ

中 庸 精 義
迹ニ泥マザレ。持載ハ即博厚ノ至。覆幬ハ高明ノ至。錯行代明ハ悠久ノ至ナリ。

萬物並育而不相害。道並行而不相悖。小徳川流。大徳敦化。此天地之所以爲大也。

解 悖ハ背ノゴトキナリ。天覆ヒ地載セ、相制スル物其間ニ生成ス。四時錯ニ行ハレ、日月代ル々明ナリ。其道反スルガ若クニシテ序有リ。害セズ悖ラザル所以ハ、小徳ノ川流並育シ並行ハル所以ハ、大徳ノ敦化ナリ。小徳ハ全體ノ分。川流トハ川ノ流ル、支アリ派アリテ、流行息マザル如キナリ。大徳ハ部分ノ本。敦化ハ其化育ヲ敦厚ニシ、根本盛大ニシテ出ヅルコト無窮ナリ。

右第二十三章

解 天地ノ大ヲ言ヒテ、聖人ノ大ヲ見ズ。

唯天下至聖爲能聰明睿知。足以有臨也。寬
祐溫柔。足以有容也。發強剛毅。足以有執也。
齊莊中正。足以有敬也。文理密察。足以有別
也。

解 聰明睿知ハ生知ノ質ナリ。臨ハ上ニ居テ下ニ臨ムナリ。其下ノ四ツハ乃仁義禮智ノ徳ナリ。文ハ文章。理ハ條理ナリ。密ハ詳細。察ハ明辨ナリ。

溥博淵泉而時出之。

解 溥博トハ、周徧ニシテ廣濶ナリ。淵泉トハ、靜深ニシテ本有ルナリ。出ハ發見ナリ。五ツノ徳中ニ充積シテ、時ヲ以テ外ニ發見スルヲ言フ。

溥博如天。淵泉如淵。見而民莫不敬。言而民莫不信。行而民莫不說。

解 其充積スルヲ盛ヲ極メ、發見スルヲ其可ニ當ルヲ言フナリ。見トハ方ニ出デテ、未言動ニ形ハレザル時ヲ言フ。

是以聲名洋溢乎中國。施及蠻貊。舟車所至。人力所通。天之所覆。地之所載。日月所照。霜

露所墜。凡有血氣者。莫不尊親。故曰配天。

解 舟車ノ至ル所以下ハ蓋之ヲ極言スルナリ。天ニ配ストハ、其徳ノ廣大ナル天ノ如キヲ言フ。凡血氣有ルトハ、人類ヲ指シテ言フ。

右第二十四章

解 此章、小徳ノ條理分明ニシテ見易キ所ヲ言フ。

唯天下至誠爲能經綸天下之大經。立天下之大本。知天地之化育。夫焉有所倚。

解 經トハ、絲ノ緒ヲ理メテ之ヲ分ツナリ。綸トハ、絲ノ類ヲ比シテ之ヲ合スナリ。大經ハ五品ノ人倫。大本ハ性トスル所

ノ全體ナリ。惟聖人ノ徳、極メテ誠ニ妄ナル無シ。故ニ人倫ニ於テ、各當然ノ實ヲ盡シテ、天下後世ノ法タルベシ。所謂之ヲ經綸スルナリ。性トスル所ノ全體ニ於テ、人欲ノ偽之ニ雜ハル無ク、天下ノ道皆此ニ由リテ出ヅ。所謂之ヲ立ツルナリ。其天地ノ化育ニ於ル、眞ニ知リテ契合スルアリ。此皆至誠ノ自然ノ功用、豈物ニ倚著スルコト有リテ、後ニ能スルナランヤ。

肫肫其仁淵淵其淵浩浩其天

解 肫肫ハ懇至ノ貌。經綸ヲ以テ言フナリ。淵淵ハ靜深ノ貌。本ヲ立ツルヲ以テ言フナリ。浩浩ハ廣大ノ貌。化ヲ知ルヲ以テ言フナリ。其淵其天ハ之ト一タルナリ。

苟不固聰明聖知達天德者其孰知之

解 固ハ實ノゴトキナリ。孔子ノ堯舜ヲ知ル是ナリ。

右第二十五章

解 大徳ノ敦化ヲ言フ。聖人天道ノ極致ヲ言フコト、此ニ至リテ加フベキコト無キナリ。

詩曰衣錦尙絀惡其文著也。故君子之道闇然而日章。小人之道的然日亡。君子之道淡而不厭簡而文溫而理知遠之近知風之自。知微之顯可與入徳矣。

解 前章ニ、聖人ノ徳ヲ言フコト、其盛ヲ極ム。此ニ復下學ノ

心ヲ立ツル始ヨリ之ヲ言ヒテ、下文ニ推シテ其極ニ至レリ。詩ハ國風碩人ノ篇。綱ハ禪衣ナリ。尙ハ加ナリ。古ノ學者ハ己ガ爲ニス。故ニ心ヲ立ツルコト此ノ如シ。綱ヲ加フル故ニ闇然タリ。錦ヲ衣タル故ニ日ニ章ナル實アリ。淡簡温ハ、綱ヲ外ニ襲ヌナリ。厭ハレバシテ、文ニ且理ナルハ、錦ノ美中ニ在ルナリ。小人ハ是ニ反スレバ、外ニ暴シテ實ノ之ニ繼グナシ。是ヲ以テ的然タレドモ日ニ亡ブ。遠ノ近キハ、彼ニ見ユルモノハ此ニ由ルナリ。風ノ自ルハ、外ニ著ハル、モノハ内ニ本ツクナリ。微ノ顯ナルハ、内ニ有スレバ外ニ形ハル、ナリ。己ガ爲ニスル心有リテ、又此三ツノ事ヲ知レバ、謹ム所ヲ知リテ德ニ入ルベシ。

詩云潛雖伏矣亦孔之昭故君子內省不疚

無惡於志君子之所不可及者其唯人之所不見乎。

解 詩ハ小雅正月ノ篇。上文ヲ承ケテ、隱ヨリ顯ナルハ莫ク微ヨリ見ナルハ莫キヲ言フナリ。疚ハ病ナリ。志ニ惡ムコト無シトハ、心ニ愧ヅルコト無シト言フガゴトシ。此獨ヲ謹ム事ナリ。即誠意ナリ。

詩云相在爾室尙不愧于屋漏故君子不動而敬不言而信。

解 詩ハ大雅抑ノ篇。相ハ視ナリ。屋漏ハ室ノ西北ノ隅ナリ。上文ヲ承ケテ言フ、君子ノ戒謹恐懼スルコト、時トシテ然ラ

ザル無シ。言動ヲ待テ後ニ敬信ナラズ。

詩曰。奏假無言。時靡有爭。是故君子不賞而民勸。不怒而民威於鈇鉞。

解 詩ハ商頌烈祖ノ篇。奏ハ進ナリ。假ハ格ナリ。上文ヲ承ケテ其效ヲ言フ。君子ノ誠心進ミテ明神ニ感通シ、言説ヲ待タズ。則下民自之ニ化スルナリ。威ハ畏ナリ。鈇ハ莖斫刀ナリ。鉞ハ斧ナリ。

詩曰。不顯惟德。百辟其刑之。故君子篤恭而天下平。

解 詩ハ周頌烈文ノ篇。不顯ハ此ニ借り引キテ、幽深玄遠ナ

ル意トス。上文ヲ承ケテ、天子ニ不顯ノ德有リ。諸侯ノ之ニ則ルヲ言フ。篤恭トハ其敬ヲ顯サ、ルヲ言フナリ。猶垂拱シテ天下治ルト曰フガ如シ。乃聖人ノ至德自然ノ應。中庸ノ極功ナリ。上節ニ比スルニ、德愈深クシテ效愈遠キナリ。

詩云。予懷明德。不大聲以色。子曰。聲色之於以化民未也。詩曰。德輶如毛。毛猶有倫。上天之事無聲無臭。至矣。

解 詩ハ大雅皇矣ノ篇。之ヲ引キテ所謂不顯ノ德ハ、正ニ聲ト色トナ大ニセザルヲ明ス。又孔子ノ言ヲ引キ、以爲ク聲色ハ乃民ヲ化スル末務ナリ。今之ヲ大ニセズト言フノミナレバ、尙聲色ノ存スル有リ。未不顯ノ妙ヲ形容スルニ足ラズ。蒸

民ノ詩ニ言フ所徳ノ韜キ毛ノ如シトノ一句ニ若カズ形容
スベキニ庶幾シ。而テ又以爲ク、毛ハ尙比スベキモノアリ。文
王ノ詩ニ言フ所、上天ノ事、聲無ク臭無シトノ一句ニ若カズ。
然ル後不顯ノ至リト爲ルノミ。唯此以テ此ノ徳ヲ形容スベ
キナリ。

右第二十六章

解 子思、中庸一篇ノ要ヲ舉ゲテ之ヲ約言ス。

中學提要終

明治三十二年九月廿九日印刷
同年十月三日發行

中庸提要
定價金貳拾五錢

著 者 佐 藤 雲 韶

印 發 行 者 兼 金港堂書籍株式會社
東京市日本橋區本町三丁目十七番地

代 表 者 右 社 長 原 亮 三 郎
東京市下谷區龍泉寺町四百十番地

賣 捌 所 各 府 縣 特 約 所

